

～さがえりコンサート～ おかえりなさい！

9月22日「アンサンブル・リリ」コンサートとして、第23回日本木管コンクールフルート部門3位の若山桃子さんが、仲間と一緒にさがえりされました。ヴァイオリンの中澤沙央里さん、ピアノの佐々木絵理さんとの息もピッタリですてきなコンサートとなりました。地元の少年少女合唱団のハーモニーと美しいフルートの音色がホール内にさわやかに響き渡り、フルートがまた大好きになりました。

「アンサンブル・リリ」のみなさんは、コスミックホール・レジデンシャル・アーティスト(かたかな語はむずかしい!! ホール専属アーティストとかホールとともに育つアーティストといった意味ですって...)として、これからもコスミックホールと地域のみなさまといっしょに楽しいコンサートなどを開催してくださいませ。乞うご期待!

“視聴者の声”「コスミックホールは、これからもいろいろな人の『おかえりなさいコンサート』を開催してくれるんだって。楽しみにしてこ!! がんばれ新しい風 加東! 期待していますよ!」との声をかけられスタッフ一同、感動・感動です。ありがたいですね。



～加東市のまちについて～

「山よし! 技よし! 文化よし! 夢がきらめく☆元気なまち 加東」。

平成18年3月に旧社町、滝野町、東条町が合併し、面積157.55km²、人口約4万人の市として発足し、今年加東市政10周年を迎えました。

自治体別住みよさランキングでは、項目別としての兵庫県内順位では、安心度11位、利便度19位、快適度1位、裕福度11位、住居水準充実度14位、その他成長力ランキング11位、民力度ランキング1位、財政健全度ランキング9位となり、総合評価では兵庫県内2位、全国61位の評価を得ています。さらに、図書貸出密度(人口3万人以上4万人未満の市)は「9年連続日本一」に輝いています。

播州弁会話講座



五峰山(ごぶさん)

五峰山光明寺は中国縦貫道「滝野社IC」から車で5分のところ。南北朝時代の光明寺合戦は「太平記」に記載されており歴史ロマンを感じます。

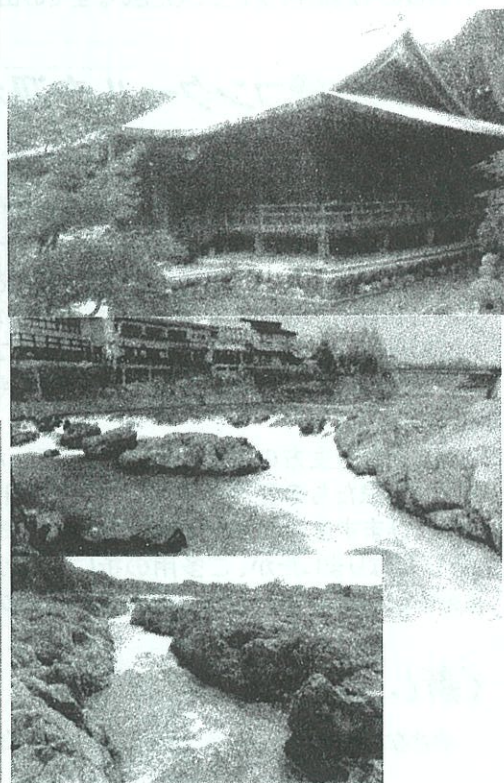
四季折々の自然に囲まれ、特に紅葉の名所としても知られ自然美を求めハイキングコースとして多くの人々が訪れます。

また、文芸の山として県内外から募集した作品の句碑が建立されています。

闘竜灘(とうりゅうなだ)

闘竜灘は清流加古川の川底いっぱいに奇岩怪岩が起伏し、奇岩、瀑布が形造られた名勝として知られています。

また、闘竜灘の地形や鮎の習性を利用した「笥漁(かけいりょう)」は笥によって流水を引き込み、人工の滝を作り、この滝を遡上する鮎を仕掛けの穴へ落とし込む漁法が今も継承されています。

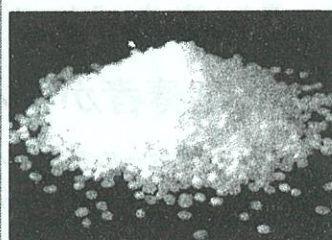


加東市特産物の紹介

【播州針】北播磨一帯の約80軒の業者で作られる釣り針。全国生産の9割以上を占め、地域で一貫生産する地場産品。1851年、庄屋の小寺彦兵衛が土佐でその技術を習得し、播州に戻って業を起したことからはじまり、以後連綿と技術が受け継がれ、世界にその名を轟かせています。



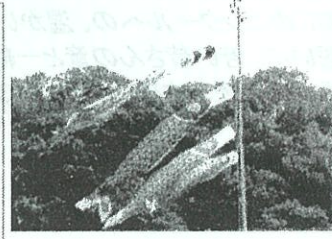
【酒米山田錦】日本酒の最高の原料である酒造好適米「山田錦」の最高産地(特A地区)で、灘五郷など全国の酒造メーカーに、高い評価を受け出荷されています。米粒の中心にある「心白」が他の酒米に比べ大きいのが最大の特徴。



【ひな人形】播州のひな人形づくりは、明治時代に京都から職人を招いて加東市周辺の農家が製法を習ったことが始まり、人形づくりは今も分業制で、頭師、小道具師などが全国でパーツをつくっています。加東市では着付師が胴体と衣裳をつくり、着物を着せて人形本体を仕上げています。



【鯉のぼり】「播州鯉」と呼ばれる、加東市でつくられてきた鯉のぼり。明治30年頃、大阪・堺で製法を学んだ者がこの東条地域で冬場の仕事として広めたことが始まり。



【その他の特産品】生産量が多くないため、あまり全国には出回っていませんが、知る人ぞ知る加東市の特産品です。

「桃」・丹精込めて丁寧に育てられた、甘くておいしい実が人気です。

「播磨やしろ茶」・肥えた土質と穏やかな気候が育てたお茶。

「山の芋」・粘りが強く美味な上、栄養分が豊富で美容や滋養強壮に効果あり、名品として有名です。

